

# 昔を振り返って～清田区誕生物語

平成19年11月4日で、清田区が誕生してから丸10年を迎えます。そこで今回は、10年前を振り返って、清田区誕生に至る経緯とその頃の様子についてご紹介します。

## 豊平区の分区

札幌市の都市化に伴い、人口が急増する中、豊平区も平成四年当時で約二十八万人以上の人口を持つ、市内最大の区となりました。そうした背景から、適正な行政サービスを行うため、分区についての検討が始まり、平成五年に豊平区の分区案をまとめ、平成九年秋に分区するという方針を固めました。

分区後の新しい区の境界については、隣接する区との境界をできるだけ分かりやすくするため、道路や河川などを境とした現在の清田区の区域に確定しました。

## 『清田区』の誕生

分区後の新区の名称については、地域住民へのアンケートから出された意見を基に、住民にとって親しみやすく、歴史的・地理的背景からその区域を適切に表現できる名称とすることで、平成七年に『清田(きよた)区』とすることを決定しました。



広報さっぽろ  
平成7年11月号

清田区の誕生について初めて掲載されました。



建築中の  
総合庁舎

総合庁舎外観(上)と1階戸籍住民課内装(下)



清田区総合庁舎イメージ図(着工前)

それと同時に、清田区役所の開所日は、平成九年十一月四日に決まり、区役所の設置場所についても、商業、医療、金融といった機能が集中しており、さらには新区の中心に位置しているということで、平岡一条一丁目に決定しました。

清田区役所の新庁舎については、総事業費約六十八億円をかけて区役所、保健センター、図書館、消防署の四施設が入る総合庁舎として工事が進められました。

## 清田区開設の日

平成九年十一月四日、人口約十万七千人、世帯数約三万七千世帯の緑豊かな若さと活気にあふれた札幌市十番目の区『清田区』が誕生しました。待ちわびたように新庁舎に待たされる人、祝賀行事に率先して参加する人、多くの人がその誕生を喜びました。



《平成9年10月26日》清田区の誕生を祝う区民の集い(右)  
《平成9年11月2日》第1回清田区ふれあいコンサート(左)  
開所直前に行われた清田区の誕生を祝うイベントには、多くの区民が参加して、清田区の誕生を喜びました。



広報さっぽろ  
平成9年11月号  
「清田区民のページ」が初めて掲載されました。



《平成9年11月9日》  
清田区開設記念祝賀会  
1,200人も参加者が清田区の誕生を祝いました。



## 清田区の シンボル マーク

市民からの公募作品563点の中から選定されました。大樹と厚別川を組み合わせ、全体で清田区の頭文字の「K」を表しています。



最優秀受賞者の表彰



《平成9年11月4日》清田区役所開所時の様子

## 広告欄